

消費者を守るための制度

めあて 契約をやめられる場合があることを理解しよう

1. 次の2つの事例を読み、考えてみよう

【事例1】

昨日、お店でアクセサリーを買ったが、他のお店でもっと気に入ったものを見つけた。
一度も身に付けていないので、返品したい。

【事例2】

昨日、「アクセサリーの展示会をしているから」、と路上で勧誘され、断り切れずに買ってしまった。
本当は欲しくなかったので、返品したい。

	事例1と事例2の共通点
あなたの意見	
グループの意見	

消費者を守るための制度

1. 次の2つの事例を読み、考えてみよう

【事例1】

昨日、お店でアクセサリーを買ったが、他のお店でもっと気に入ったものを見つけた。
一度も身に付けていないので、返品したい。

【事例2】

昨日、「アクセサリーの展示会をしているから」、と路上で勧誘され、断り切れずに買ってしまった。
本当は欲しくなかったなので、返品したい。

異なる点	事例1	事例2
あなたの意見		
グループの意見		

消費者を守るための制度

2. 次の事例のうち、クーリング・オフができる場合には○、できない場合には×を付けよう

① 3日前にインターネットでスニーカーを購入したが、イメージと違ったので返品したい。	
② 2週間前に、「友人に紹介していくともうかる」と言われ、健康食品を購入したが、返品したい。	
③ 5日前にSNSでお店に呼び出され、10万円の化粧品セットを購入したが、返品したい。	

3. 次の取引のうち、クーリング・オフができる場合には○、できない場合には×を付けよう

① インターネットショッピングなどの通信販売	
② 3,000円未満の商品を現金で購入	
③ SNSでお店に呼び出され、買わされた商品やサービス	

未成年者の契約

4. (1) 次の場合、契約の取消しはできますか

私は14歳の中学生ですが、先日、保護者に内緒でダイエットサプリ商品を契約しました。
よく考えてみた結果、契約を取り消したいのですが。

契約の取消しは できる できない

(2) 次の場合で、未成年者取消しできる場合には○、できない場合には×を記入しよう

① お小遣いとしてもらっている金額で契約した場合	
② 親が同意して契約した場合	
③ 契約の相手に対して、自分は成人だとだまして契約した場合	